

仕事人秘録

両親はとてもお節介焼
きだった。

父親は親戚の子どもの就職の世話をよくしてました。その親よりも積極的に動いて就職先を紹介していて、「なんでそこまで親戚のためにするのか」と感心したものです。

ある時、親戚が交通事故か何かの示談交渉をしなければならなくなった時も、父親が中に入って交渉を進めてうまくまとめていましたね。母もそうでした。他人の困り事に対して自分のことのように対応するのを見ていました。これも私のいまの仕事に通じるものがあるかもしれません。自分のことのように考えないと中小企業の経営支援はできません。

行列のできる経営相談所 ③

富士市産業支援センター長
小出 宗昭氏



お節介焼き 父の背中

地域が一番校だった沼津東高校に進んだ（左端が本人）

友達数人から「いい曲だから」と薦められてクラシック音楽を聞くようになりました。生まれて初めて聞いたのがベートーベンの交響曲第3番「英雄」です。荘厳な曲に心がひき付けられます。1972年のミュンヘン五輪でパレスチナ武装組織がイスラエルの選手

会場に向かいますよ。中生時代に活躍していた彼らが今でも現役で活躍している姿を見ると力がもらえるような気がしてね。高校は県立沼津東高校に進学しました。私の住んでいた辺りでは一番レベルの高い高校です。小説家の井上靖さん、ソニー会長だった大賀典雄さん、ジャーナリストの筑紫哲也さんなどが先輩になります。同級生にはシンガーソングライターで小中学生でよく歌われている

を殺害するという悲惨な事件が起きました。現地で追悼式が開かれた際に流れたのが英雄の第二楽章の葬送行進曲でした。親にねだってクラシックレコードを買ってもらいました。今でも家には500枚はあります。ロックも聞きます。今でもローリングストーンズの来日公演がある仕事の合間を縫って

責任感も父から学んだ気がします。地元の鉄道会社に勤めていた父は台風が接近すると昼夜問わず休みであつても「じゃあ」と言葉を残してヘルメットをかぶり、自宅を後にしました。真夜中、暴風雨で雨戸がガタゴトと揺れたときなどは父親がいないことを心細く思いましたが、大切な仕事であることはわかりました。中学時代には音楽鑑賞が趣味になる。